

# 第81期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、  
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

**CENTRAL** 中央自動車工業株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 4丁目2番30号  
電話(06)6443-5182(代表) FAX(06)6443-6654  
<https://www.central-auto.co.jp>

証券コード 8117



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第81期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

代表取締役社長  
坂田 信一郎



## 事業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や公共投資の堅調さに支えられ、全体として緩やかな拡大基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の激化、10月以降の消費税率の引き上げに加え、年明けからの新型コロナウイルスの感染拡大と長期化懸念により世界経済に深刻な懸念が生じております。

国内の新車総販売台数(軽を含む)は、約503万台と前年比4.2%減と4年ぶりの前年割れとなりました。内訳は、登録車が約318万台で同4.6%減、軽自動車においても約185万台で同3.5%減となり、5年ぶりに登録車・軽自動車がそろって前年割れの実績となりました。

このような景況下、当社では、地域密着型営業を一層推進し、付加価値の高いオリジナル商材の拡販を通じ、得意先との関係深耕とサービス体制の強化に努めました。

また、2019年12月に損害保険会社の全損認定車両処分に関する業務を主とする三菱商事株式会社100%子会社の株式会社ABTを買収し、当社の完全子会社といたしました。今後、同社のネットワークを活かした新しい分野での新しい商品・サービスの開発を通じて、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

これにより、当社グループの売上高は259億43百万円(前年比119%)、営業利益は50億22百万円(同116%)、経常利益は53億58百万円(同113%)、親会社株主に帰属する当期純利益は38億75百万円(同114%)となり、増収増益となるとともに過去最高益を更新いたしました。

当期末の配当金につきましては、1株当たり28円とさせていただきました。すでに中間配当金として1株当たり28円をお支払いいたしておりますので、通期の1株当たりの配当金は普通配当で前期比6円増配の56円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

### (自動車部品・用品等販売事業)

当社グループの報告セグメントは、前連結会計年度において「自動車関連事業」の単一セグメントであり、当連結会計年度において、「自動車部品・用品等販売事業」は、従来の「自動車関連事業」の業績のみによって構成されるため、以下では前連結会計年度との比較を行っております。

当セグメントにおきましては、国内部門では、上半期は新車販売増を追い風に新規取引先の開拓とシェア拡大に注力し、下半期は消費税率引き上げ後の需要低迷による新車販売台数減をカバーすべく、新商品を含めた付加価値の高いオリジナル商材の提案を一層強化し、地域密着型営業を通じて得意先との関係深耕とサービス体制の更なる強化に努めました。また、研究開

発施設「中之島R&Dセンター」では、研究開発人員の増員と設備増強を図り、開発型企業として市場環境に左右されない強固な体制づくりを進めております。

海外部門では、現地拠点と連携した地域密着型営業の推進により、米国や中近東地域を中心に既存先の深耕による拡販と共に、アジア地域等において当社オリジナル商材をはじめ、付加価値の高い新たな商材の展開に努めました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、当社の主力商品であるCPCブランド商材の生産が順調に推移し、新規開発商材の量産化にも迅速に対応しております。

これにより、売上高は238億90百万円(前年比110%)、セグメント利益につきましては50億42百万円(同116%)となりました。

#### (自動車処分事業)

当セグメントは、2019年12月31日をみなし取得日として子会社化した株式会社ABTの事業によって構成されております。そのため、「自動車処分事業」の業績につきましては、2020年1月1日から2020年3月31日までの3カ月間となっております。また、当連結会計年度より連結対象となったため、前連結会計年度との比較は行っていません。

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社ABTは、通常1～3月期は損害保険会社からの全損車両の処分依頼が急増する時期であり、それに加え、昨年発生した広範囲に及ぶ水害により全損車両が急増し、例年以上に繁忙を極めましたが、滞りなく業務を遂行し安定した事業運営を行いました。

これにより、売上高は20億52百万円、セグメント損失につきましては19百万円となりました。なお、株式会社ABTの子会社化に伴い、無形固定資産5億85百万円を計上し、減価償却費1億59百万円を計上しております。

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスによる影響が、深刻な世界経済への下振れ圧力となり、景気の先行きは一層不透明となっております。このまま長期化・深刻化すれば、経済活動に与える影響は甚大で、先行き予断を許さない状況であり、環境変化を注視しつつ、適時適切な対応が必要となっております。国内の新車販売需要においても、年度末以降の受注活動に影響を及ぼしており、停滞することが予測されます。

今後の世界的な感染状況の推移を慎重に見極めつつ、業績への影響を最小に止めるべく、環境変化に果敢に対応して参りたいと存じます。

こうした状況下、当社グループは、変革する自動車業界および市場環境に対応すべく、国内外の拠点と人員体制を拡充し、さらなる地域密着型営業を推進するとともに、新たなビジネスモデル展開に向けた組織改革や部署新設など、開発型企業として一層の体制強化に努めてまいります。また、研究開発や連結子会社との連携を強化し、新規商品ならびに新規事業に向けた取り組みに注力してまいります。

そして、当社の将来を担う中核人材および若手人材の中長期的視野に立った育成を行うとともに、働き方改革への対応による業務効率化を推進し、組織全体を活性化することにより、新しい需要を創造し、社会に貢献できる開発型企業として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 坂田 信一郎

## 会社の概要

設立	1946年5月10日
資本金	10億100万円
従業員数	企業集団の従業員数 286名 当社の従業員数 244名

## 事業内容

当社：自動車部品、用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入  
連結子会社：自動車用品製造販売／自動車部品、用品販売および輸出入  
損害保険会社の全損認定車両処分に関わる事業

## 国内事業所

本社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-30 電話(06)6443-5182(代表)	大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-33 電話(06)4803-5011(代表)
札幌支社	〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26 電話(011)241-8121(代表)	広島営業所	〒733-0821 広島市西区庚午北2-10-20 電話(082)507-7761(代表)
仙台支社	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-20 電話(022)231-9351(代表)	高松営業所	〒761-8031 高松市郷東町4-1-7 電話(087)881-4401(代表)
仙台支社盛岡営業部	〒020-0135 盛岡市大新町6-35アイビル大新町 1F 電話(022)231-9351(仙台支社代表)	福岡支社	〒815-0031 福岡市南区清水4-7-14 電話(092)554-3100(代表)
北関東支社	〒321-0103 宇都宮市台新田町143 電話(028)658-2191(代表)	福岡支社南九州営業部	〒890-0052 鹿児島市上之園町19-17 ネオアクシス甲南101 電話(092)554-3100(福岡支社代表)
北関東支社高崎営業部	〒370-0046 高崎市江木町275-1フジノビル 201号室 電話(028)658-2191(北関東支社代表)	中之島R&Dセンター	〒530-0005 大阪市北区中之島4-1-15 電話(06)6443-5846(代表)
東京支社	〒173-0004 東京都板橋区板橋1-42-13 大佳板橋ビル5F 電話(03)5943-9088(代表)	東日本物流センター	〒345-0012 埼玉県北葛飾郡杉戸町深輪398-13 センコー(株)埼玉北支店杉戸PDセンター内 電話(0480)53-7112(代表)
静岡営業所	〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-8-11 電話(054)261-3344(代表)	西日本物流センター	〒651-2241 神戸市西区室谷1-3-5(神戸ハイ テクパーク内)センコー西神戸PDセンター内 電話(078)990-0722(代表)
金沢営業所	〒920-0061 金沢市問屋町1-82-1 電話(076)237-6561(代表)		
名古屋支社	〒467-0875 名古屋市長徳区御剣町2-18 電話(052)882-1211(代表)		

## 海外事業所

デトロイト(米国)、シンガポール、ドバイ(UAE)、ジャカルタ(インドネシア)、マニラ(フィリピン)、広州(中国)、ヤンゴン(ミャンマー)、台北(台湾)、クアラルンプール(マレーシア)、ホーチミン(ベトナム)

## 子会社

セントラル自動車工業株式会社 本社工場(大阪府)  
CAPCO PTE LTD(シンガポール)  
CAPCO USA, INC.(米国)  
株式会社ABT(東京都)

## 株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	20,020,000株
当事業年度末の株主数		3,114名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,475	8.02
日産東京販売ホールディングス株式会社	1,060	5.76
株式会社三菱UFJ銀行	888	4.83
東京海上日動火災保険株式会社	755	4.11
上野万里子	685	3.73
TPR株式会社	663	3.61
光通信株式会社	598	3.25
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	589	3.20
株式会社みずほ銀行	531	2.89
株式会社椿本チエイン	500	2.72

(注) 持株比率は自己株式(1,625,178株)を控除して計算しております。

連結貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	
科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>14,078,797</b>
現金及び預金	9,626,335
受取手形及び売掛金	3,230,238
商品及び製品	881,798
仕掛品	10,309
原材料及び貯蔵品	16,237
前渡金	12,956
その他	305,438
貸倒引当金	△ 4,517
<b>固定資産</b>	<b>20,426,996</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>(3,128,096)</b>
建物及び構築物	886,994
機械装置及び運搬具	11,836
工具、器具及び備品	80,904
土地	2,058,177
建設仮勘定	75,609
その他	14,574
<b>(無形固定資産)</b>	<b>(5,505,550)</b>
のれん	4,864,165
商標権	100,017
ソフトウェア	85,980
その他	455,386
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>(11,793,349)</b>
投資有価証券	9,690,231
長期貸付金	735,808
繰延税金資産	607,759
その他	760,491
貸倒引当金	△ 940
<b>資産合計</b>	<b>34,505,793</b>

負債の部	
科目	金額
<b>流動負債</b>	<b>5,163,785</b>
支払手形及び買掛金	2,139,960
未払法人税等	1,444,898
賞与引当金	372,738
その他	1,206,188
<b>固定負債</b>	<b>1,221,778</b>
繰延税金負債	9,130
退職給付に係る負債	1,090,277
長期預り保証金	82,700
未払役員退職金	27,735
その他	11,935
<b>負債合計</b>	<b>6,385,564</b>

純資産の部	
科目	金額
<b>株主資本</b>	<b>27,742,412</b>
資本金	1,001,000
資本剰余金	4,689,635
利益剰余金	22,672,160
自己株式	△ 620,383
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>347,855</b>
その他有価証券評価差額金	372,533
繰延ヘッジ損益	196
為替換算調整勘定	14,477
退職給付に係る調整累計額	△ 39,351
<b>非支配株主持分</b>	<b>29,961</b>
<b>純資産合計</b>	<b>28,120,229</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,505,793</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		25,943,003
売上原価		15,183,984
<b>売上総利益</b>		<b>10,759,018</b>
販売費及び一般管理費		5,736,223
<b>営業利益</b>		<b>5,022,795</b>
営業外収益		446,706
受取利息及び配当金	155,422	
持分法による投資利益	189,839	
その他	101,444	
営業外費用		110,922
売上債権売却損	27,264	
支払手数料	51,598	
その他	32,059	
<b>経常利益</b>		<b>5,358,578</b>
特別利益		1,064,203
投資有価証券売却益	1,064,203	
特別損失		785,900
減損損失	36,312	
投資有価証券評価損	749,588	
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>5,636,880</b>
法人税、住民税及び事業税	2,065,480	
法人税等調整額	△ 334,392	
<b>当期純利益</b>		<b>3,905,792</b>
<b>非支配株主に帰属する当期純利益</b>		<b>29,961</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>3,875,831</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 取締役と監査役 (2020年6月24日現在)

代表取締役社長	坂田 信一郎
専務取締役	鳥野 善文
常務取締役	近藤 雅之
取締役	柿野 雅文
取締役	廣内 学
取締役	久保井 聡明
取締役	住吉 哲也
取締役	増田 文弘
取締役	酒井 規光
取締役	AHMED SAJJAD
監査役	具足 彰治
監査役	中山 正隆
監査役	堀内 武文

- (注) 1. 取締役 久保井聡明およびAHMED SAJJADの両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 具足彰治、中山正隆、堀内武文の3氏は、会社法施行規則第2条第3項第8号に定める社外監査役であります。

## 主要取扱商品 (国内部門および海外部門)

区分	主要商品名
シャーシーおよび トランスミッション部品	ベアリング サスペンションパーツ ユニバーサルジョイント クラッチディスク&カバー ディスクパッド ショックアブソーバー デフレンシャルギヤー
電装品および カーエアコン	バッテリー ホーン カーエアコンパーツ イグニッションパーツ&ケーブル
エンジン メンテナンス関係	エレメント エンジンオイル ピストン&ピストンリング エンジンメタル ウォーター・フェューエル・オイルポンプ ガスケット タイミングパーツ エンジンオイル添加剤 (メタルトリートメント)
ケミカルおよび 美装・環境システム	潤滑油 ウインドケミカル他 洗車用品 車外美装システム 車内抗菌・防臭コーティング ウインドウガラス撥水コーティング
その他	無機防汚コーティング剤 アルコール検知器 カーナビ画面保護フィルム 自動車ボディ保護フィルム ワイパーブレード その他部品・用品



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載し、そのアドレスは次のとおりです。 <a href="https://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html">https://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html</a> 事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 《ご注意》

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国支店にてもお取り扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 《ご案内》

- 1.2014年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について  
2014年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されます。  
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%  
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。  
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。  
なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けてください。  
また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 主な取扱商品

### ボディコーティング



#### CPCボディーマー マキシム CPCスーパープレミアムコーティング エクスG

- 役割の異なる3重のガラス質被膜をボディに形成。自動車用ボディコーティングに求められる機能・特性を最高レベルで発揮します。



#### CPCプレミアムコーティング ダブルG / ダブルGベータ

- 自動車の塗装面に2重のガラス質被膜を形成。光沢、艶、膜厚感、持続性、汚れから守る効果等、全てを高レベルで実現します。

※日刊自動車新聞用品大賞2015「ケミカル部門賞」受賞。



#### ガラスコーティングガードコスメ ／ガードコスメSP

- ガラス質被膜とフッ素化合物被膜のハイブリッドタイプで、高級感のある輝きや光沢を一層際立たせます。

※日刊自動車新聞用品大賞2007「機能用品部門賞」受賞。



#### CPCペイントシーラント CPCガラスコート CPCガラスコートSP

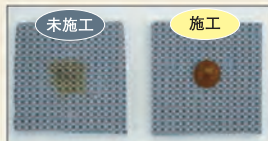


自動車のシートを汚れなどから守る

新製品

#### CPCファブリックコーティング CPCレザーコーティング

- 車内も美しく快適に保ちたいとのニーズに応え開発。ファブリック(繊維)とレザー(本革)の2タイプを用意しています。



※ファブリックコーティングのコーヒー滴下テスト。水分や油分の染み込みを抑え、汚れからシートを守ります。



※レザーコーティングの擦りテスト。保護効果で本革の表面を守り、シートの劣化を抑制します。

### メタルトリートメント MT-10 (エムティーテン)

- エンジン内部の金属表面を滑らかにして摩擦抵抗を抑え、エンジンを守るオイル添加剤です。燃費効率の向上に貢献しながら、エンジン音も静かになり、始動性やレスポンスも向上、快適なドライブをご提供できます。
- MT-10エンジンリフレッシャーは、エンジン内部に付着した汚れに浸透し、オイル内部に分散して洗浄するエンジンフラッシング剤です。



※MT-10エフィが日刊自動車新聞用品大賞2017「ケミカル部門賞」受賞。



### 安全運転のため360°視界スッキリ SKATO360 (スカット・サンロクマル)

- 雨の日の視界を良好にして、ドライバーや歩行者の安全のお役に立つウインドウガラス撥水コーティングです。
- 優れた撥水効果と長期間の持続性を持ち、フロントガラスだけでなく、サイドリアガラスにも施工でき、360°良好な視界を確保します。



※比較画像は水道水をホースで散らし、人工的に雨をイメージさせたものです。

※日刊自動車新聞用品大賞2009「ケミカル部門賞」受賞。

## EXCEL PURE 無機防汚コーティング剤 エクセルピュア

- ガラスなどの透明基材に塗布することにより、表面に親水被膜を形成。セルフクリーニング効果を持たせて、基材の汚れ付着を防ぎます。
- 太陽光パネルに塗布した場合、初期から光透過性が高まり、発電効率が向上することが確認できています。それらの事から太陽光パネルコーティングとして市場から注目されています。



※未施工ガラス面の水接触角



※施工済ガラス面の水接触角

## soCiAc アルコール検知器 “ソシアック”シリーズ

- 多数の官公庁、地方自治体、一般企業様、さらには警察の飲酒検問・第一次検査用としても採用されているアルコール検知器です。
- 測定履歴が保管できるタイプや、アルコール検知器の故障の有無を確認できる「テスターキット」も含め、プロドライバーにシリーズとして選ばれています。



売上代金の一部を公益財団法人交通遺児等育成基金へ継続して寄付させて頂いております。

※日刊自動車新聞用品大賞2003「特別賞」、同2008「セーフティ部門賞」、同2011「セーフティ部門賞」受賞。

Japan-Central Automotive Approved

## J.C.A.P.

## プライベートブランド “J.C.A.P.”シリーズ

- 「J.C.A.P.」は、中央自動車工業のプライベートブランドです。創業以来培ってきたノウハウを駆使して、各国の強味をコーディネートしながら、皆様にご満足頂ける商品をピックアップしました。
- 品質・生産能力・コスト等を吟味して、今後もシリーズの拡充を図っていきます。



## 海外拠点を拡充・活用しながらグローバルに展開 自動車用部品

- 世界60数カ国をネットワークして、日本の優れた自動車用部品を海外に、また厳選した海外生産の部品を他国へと、グローバルに輸出入しています。
- 現地に赴き地域ごとに異なるマーケットニーズや販路状況等を調査しながら、それらにマッチした商材を幅広く紹介。海外営業拠点を拡充しながら、新たなマーケットの開拓にも努めています。





FS 543170 / ISO 9001  
EMS 543169 / ISO 14001  
本社 国内支社・営業所

## 研究開発施設

# 中之島R&Dセンター

2017年6月に開設いたしました研究開発施設「中之島R&Dセンター」は弊社の核となる施設であり、2019年度上半期に研究スタッフの増員に加え、設備の増強を図りました。これまで以上に開発・改善・改良のスピードと精度を向上させ、一層皆様のお役に立ち、ご満足頂ける開発型企业となるべく、本施設をフル活用してまいります。



●マイナス30℃の環境を作り出し、雪国の再現もできる恒温恒湿室を新設

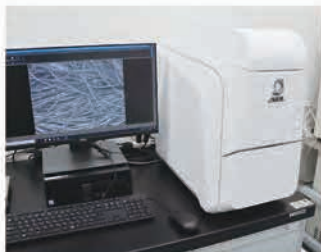


●洗車ができるとともに、コーティングの状態を確認しやすいピットを増設



●増設・増強した中之島R&Dセンター

## ■新たに導入した試験機器



●10,000倍以上の倍率で観察できる卓上走査型電子顕微鏡



●立体物へのコーティング施工も可能な卓上型スプレー塗布機



●各温度における溶剤の揮発速度を測定できる揮発分・固形分測定器



●溶剤の流動性や保存時の安定性を確かめる事を目的とした粘度計